

【ご質問にお答えして】

ご質問ありがとうございました。お迷いのように、全ての「事象」を体験的に伝えていくことは不可能です。

また、社会システムにおいても、時に「意図的」に「本物」（体験）が隠蔽されてもいます。

以下に、子どもと大人についてポイントを提示しました。

1.子どもについて

- (1)可能な限り「本物」（実物）を見せ・聴かせ・触らせていくこと
- (2)その「本物体験」から「偽物」に気付く力を身に付けさせること
- (3)身の回りには「本物」と「偽物」が常に混在することを気付かせること
- (4)可能な限り「偽物」を拒否できる「力」（抵抗力）を身に付けさせること
- (5)「疑似体験」を受け入れざるを得ないときは、それで「すべて分かった」と思わせないこと

2.大人について

- (1)何が本物なのか「吟味」すること
- (2)我が子には「このようにあって欲しい」という「願いの伝承」を意識すること